

なりました。これは、1項消防費の214ページ、3目、備考欄、003消防施設整備事業の耐震性防火水槽設置工事や、216ページ、4目の備考欄、010新庁舎防災関係機器整備・移設事業などの増加によるものでございます。

9款消防費の歳出全体に占める構成比率は、1.2ポイント増の3.7%でございます。

次に、下のページ、10款教育費は17億147万3,801円で、36.2%、9億6,486万2,753円の減少でございます。218ページ、1項教育総務費は1億7,789万7,016円で、0.5%の増、223ページ、2項小学校費は5億6,886万6,590円で、105.8%の増加でございます。これは、225ページ、1目の備考欄、005小学校施設環境改善事業における市内6校の屋内運動場空調整備設置工事による増加でございます。

229ページ、3項中学校費は3億8,950万602円で、144.4%の増加でございます。これは、小学校費と同様で、231ページ、1目の備考欄、005中学校施設環境改善事業などによるものでございます。

235ページ、4項社会教育費は2億8,134万8,991円で、62.2%、4億6,323万2,870円の減少でございます。これは、244ページ、6目の備考欄、002市民文化会館施設管理事業での耐震等改修工事の終了などによるものでございます。

247ページ、5項保健体育費は2億8,386万602円で、78.3%、10億2,501万2,238円の減少でございます。これは、252ページ、3目学校給食費の給食共同調理場の完成による給食共同調理場等整備等事業の皆減によるものでございますが、一方で、下のページ、備考欄、008給食共同調理場維持管理・運営等事業では調理場のPFI運営移行による増加もございます。

10款教育費の歳出全体に占める構成比率は、1.9ポイント減の8.8%でございます。

254ページ、11款災害復旧費は1,837万円で、

69.9%、4,271万1,922円の減でございます。11款災害復旧費の歳出全体に占める構成比率は、0.1%でございます。

12款公債費は12億8,483万9,303円で、5.3%、6,505万3,886円の増加でございます。歳出全体に占める構成比率は1.7ポイント増加し、6.5%となりました。

下のページ、13款予備費につきましては、予備費支出及び流用増減として2,806万3,313円を計上し、不用額は193万6,687円でございます。

以上、歳出合計は196億6,448万3,748円で、22.4%、56億9,104万4,500円減少となりました。

最後に、実質収支に関する調書についてご説明申し上げます。

317ページをお開き願います。左側が一般会計の調書でございます。歳入総額が203億7,216万3,641円、歳出総額が196億6,448万3,748円、歳入歳出差引額は7億767万9,893円、翌年度に繰り越しすべき財源は繰越明許繰越額のみで9,252万5,130円、実質収支額は6億1,515万4,763円でございます。

以上が令和3年度一般会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○梅津善之委員長 次に、認第1号の令和3年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び令和3年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の2件について。

板垣浩美市民課長。

○板垣浩美市民課長 おはようございます。

初めに、令和3年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要をご説明いたします。

歳入歳出決算書の14ページをお開きください。歳入合計では、調定額26億4,307万5,624円に対し、収入済額は前年度対比2.2%増の26億758万5,949円で、収入率は98.7%、調定額のうち293万729円を不納欠損処分とし、収入未済額は3,255万8,946円となりました。

16ページをお開きください。歳出合計では、予算現額24億338万6,000円に対し、支出済額は前年度対比0.3%増の22億9,500万9,999円で、予算執行率は95.5%、不用額は1億837万6,001円となりました。

歳入合計の収入済額26億758万5,949円から歳出合計の支出済額22億9,500万9,999円を差し引いた残額3億1,257万5,950円を翌年度に繰り越しさせていただいております。

それでは、事項別明細書により説明いたしますので、歳入歳出決算書の257ページをお開きください。歳入からご説明いたします。1款国民健康保険税は、調定額5億4,396万2,532円に対し、収入済額は前年度対比2.2%減の5億868万5,071円となっています。調定額のうち293万729円を不納欠損処分とし、収入未済額は3,234万6,732円となりました。

258ページをお開きください。以下、収入済額について、令和2年度との比較で申し上げます。2款使用料及び手数料は、3.2%減の22万3,700円となっています。

259ページをご覧ください。3款国庫支出金は、1目災害臨時特例補助金で86.1%減の64万円、4款県支出金は3.4%増の16億7,998万2,000円、内訳として、1項県補助金、1目1節普通交付金は16億4,152万8,000円、2節特別交付金（保険者努力支援制度分）は1,848万3,000円となりました。

260ページをお開きください。5款財産収入は、82.5%減の3,028円となりました。

261ページをご覧ください。6款繰入金は1.5%増の1億5,497万6,973円、1項1目一般会計繰入金の1節保険基盤安定繰入金（保険料軽減分）は8,946万1,815円、2節保険基盤安定繰入金（保険者支援分）は4,794万6,143円となっております。

262ページをお開きください。7款繰越金は、6.4%増の2億6,172万8,090円となりました。

8款諸収入は、45.4%減の134万7,087円となっております。

次に、歳出でございます。264ページをお開きください。主に支出済額について、令和2年度との比較で申し上げます。1款総務費は2.2%増の1,827万9,727円で、不用額は212万3,273円となりました。1項1目一般管理費については、3.4%増の1,451万4,288円となりました。

266ページをお開きください。2款保険給付費は4.2%増の16億961万157円で、不用額は6,084万5,843円となりました。1項療養諸費は1目一般被保険者療養給付費が13億8,501万34円、3目一般被保険者療養費が1,178万7,614円などとなりました。

2項高額療養費では、267ページになります。1目一般被保険者高額療養費が2億373万229円、3目一般被保険者高額介護合算療養費18万2,932円となっております。

268ページをお開きください。4項出産育児諸費は、15.8%増の264万1,260円です。5項葬祭諸費は、10.5%減の170万円です。

3款国民健康保険事業費納付金は、4.8%減の5億8,318万9,172円となりました。

269ページをご覧ください。1項医療給付費分は3億9,094万3,392円、2項後期高齢者支援金等分1億4,456万1,424円、3項介護納付金分は4,768万4,356円となりました。

270ページをお開きください。6款保健事業費は5.1%増で、3,611万3,312円となりました。1項特定健康診査等事業費は2,162万1,280円、2項の保健事業費は1,449万2,032円となりました。

272ページをお開きください。7款基金積立金及び8款公債費の支出はありませんでした。

9款諸支出金は、39.4%減の4,781万7,631円となりました。273ページの1項3目償還金が4,505万8,031円です。

10款予備費からの充用はございませんでした。  
続きまして、令和3年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算についてご説明いたします。

歳入歳出決算書の34ページをお開きください。歳入合計では、調定額3億7,612万6,729円に対し、収入済額は前年度対比0.1%増の3億7,502万1,029円で、収入率は99.7%、調定額のうち42万5,400円を不納欠損処分し、収入未済額は68万300円となっています。

35ページをご覧ください。歳出合計では、予算現額3億6,908万2,000円に対し、支出済額は前年度対比0.2%減の3億6,847万9,706円で、予算執行率は99.8%、不用額は60万2,294円となりました。

歳入合計の収入済額3億7,502万1,029円から歳出合計の支出済額3億6,847万9,706円を差し引いた残額654万1,323円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

次に、事項別明細書にて説明いたします。

307ページをお開きください。まず、歳入についてご説明いたします。1款後期高齢者医療保険料は、調定額2億6,851万5,500円に対し、収入済額は前年度対比1.1%増の2億6,740万9,800円で、収納率は99.6%となりました。調定額のうち42万5,400円を不納欠損処分とし、収入未済額は68万300円となりました。

以下、収入済額について、増減は令和2年度との比較で申し上げます。2款使用料及び手数料は、17%増の4万6,000円です。

3款繰入金は、1.4%減の1億201万4,106円です。308ページになりますが、1項1目1節事務費繰入金が2,061万7,690円、2目1節保険基盤安定繰入金が8,139万6,416円となっています。

4款繰越金は10.8%減の535万6,123円、5款諸収入は28.5%減で、19万5,000円となりました。

次に、歳出についてご説明いたします。310ページをお開きください。支出済額について、令和2年度の比較で申し上げます。1款総務費は18.2%減の475万2,980円で、不用額は32万4,020円となりました。1項総務管理費は43万4,526円で、2項徴収費は431万8,454円となりました。

2款後期高齢者医療広域連合納付金は0.1%増の3億6,369万4,926円で、311ページになりますが、1項1目の内訳として、保険料等負担金が2億6,638万7,900円、保険基盤安定制度分が8,139万6,416円、事務費負担金が1,591万610円となっております。

3款諸支出金は、65.2%減の3万1,800円となりました。

以上で説明を終わります。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願いいたします。

○梅津善之委員長 次に、認第1号の令和3年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について。

新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 それでは、令和3年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の20ページをお開きください。歳入でございしますが、分担金及び負担金、財産収入、繰入金合計で収入済額は前年度対比24.6%増の2億1,334万9,504円となりました。

次に、21ページをご覧ください。歳出でございしますが、山形鉄道助成費及び基金積立金合計で支出済額は前年度対比24.6%増の2億1,334万9,504円となっております。

続いて、事項別明細書により主な項目を説明いたします。

275ページをお開きください。歳入でございします。1款1項1目山形鉄道運営助成費負担金は、予算現額7,916万4,000円で、収入済額も同額でございします。長井市を除く県及び1市2町

の負担金でございまして、前年度対比28.6%の増でございます。

3款1項1目一般会計繰入金は、予算現額2,883万6,000円で、収入済額も同額でございます。これは、長井市の運営助成費負担金で、前年度対比28.6%の増でございます。

次の276ページをご覧ください。同じく3款の2項1目基金繰入金でございますが、予算現額1億868万6,000円に対し、収入済額は1億534万8,089円で、前年度対比27.1%の増でございます。

次に、277ページをご覧ください。歳出でございます。1款1項1目運営助成費でございますが、山形鉄道運営助成基金補助金といたしまして、予算現額は1億868万6,000円に対し、支出済額は1億534万8,089円で、前年度対比27.1%の増でございます。

次に、2款1項1目基金積立金でございますが、予算現額1億805万円に対し、支出済額は1億800万1,415円で、前年度対比22.2%の増でございます。

以上が長井市山形鉄道運営助成特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願いいたします。

**○梅津善之委員長** 次に、認第1号の令和3年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について。

高世 潤健康スポーツ課長。

**○高世 潤健康スポーツ課長** おはようございます。

私からは、令和3年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書24ページをお開きください。初めに、歳入です。歳入合計2,487万9,989円、前年度対比433万607円、14.8%の減でございます。内訳としましては、療養費交付金、利用料、繰入金、

繰越金、諸収入及び国庫補助金でございます。

続いて、歳出です。25ページをご覧ください。歳出合計2,477万9,666円、前年度対比433万329円、14.9%の減でございます。

歳入歳出差引残額10万323円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

次に、事項別明細書により主な項目をご説明申し上げます。

決算書279ページをお開き願います。歳入でございますが、1款1項1目訪問看護費交付金、収入済額2,106万977円、前年度対比302万772円、16.7%の増でございます。

2款1項1目利用料、収入済額188万5,725円、前年度対比8万7,196円、4.8%の増でございます。内訳としまして、介護保険、医療保険の利用者負担分でございます。

3款1項1目一般会計繰入金、収入済額107万6,000円、前年度対比609万8,000円、80.2%の減でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。282ページをご覧ください。1款1項1目訪問看護事業費でございますが、1節報酬から18節負担金補助及び交付金の項目におきまして、支出済額2,477万9,666円でございます。

以上、令和3年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

**○梅津善之委員長** 次に、認第1号の令和3年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算について。

渡部和喜子福祉あんしん課長寿介護・地域包括支援センター担当課長。

**○渡部和喜子福祉あんしん課長寿介護・地域包括支援センター担当課長** おはようございます。

令和3年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明を申し上げます。

なお、これから申し上げる数字につきましては、歳入については収入済額、歳出につきまし

ては支出済額、また、増減につきましては令和2年度決算額との比較となりますので、よろしくお願いいたします。

決算書の28ページをご覧ください。最初に、款ごとの決算額について、歳入からご説明いたします。1款介護保険料は、調定額6億5,643万6,544円に対し、収入済額6億5,301万875円で、収入済額総額に占める割合、構成比率は19.7%、収納率は0.1ポイント増の99.5%となっております。調定額のうち116万5,069円を不納欠損処分し、収入未済額は226万600円となっております。

2款使用料及び手数料は6万8,700円、3款国庫支出金は8億3,560万6,046円で、構成比率は25.2%となり、4款支払基金交付金は8億4,958万2,000円で、構成比率は25.6%、5款県支出金は4億7,656万801円で、構成比率は14.4%となり、6款財産収入は3,590円でございます。

7款繰入金は4億5,701万4,702円で、構成比率は13.8%となり、8款繰越金は3,578万3,988円、9款諸収入は853万3,279円でございます。

29ページの歳入合計は、調定額33億1,958万9,650円に対し、収入済額は前年度比0.4%増の33億1,616万3,981円で、収入率は99.9%となりました。

30ページをご覧ください。続いて、歳出でございます。1款総務費は2,896万934円で、支出済額総額に占める割合、構成比率は0.9%となりました。

2款保険給付費は30億5,230万1,734円で、構成比率93.1%となり、3款地域支援事業費は1億7,218万4,336円で、構成比率5%となり、31ページの4款基金積立金は3,590円、5款諸支出金は2,671万7,516円で、6款予備費からの支出はありませんでした。

歳出合計は、予算現額33億7,875万6,000円に対し、支出済額が0.4%増の32億8,016万8,110

円で、予算執行率97.1%となりました。

32ページをご覧くださいまして、歳入歳出差引き残額3,599万5,871円を翌年度に繰越しさせていただくものでございます。

次に、事項別明細書によりご説明を申し上げます。

285ページをご覧ください。最初に歳入でございますが、1款1項介護保険料は、第1号被保険者保険料で0.6%増の6億5,301万875円、2款1項手数料は、介護保険料の督促手数料で6万8,700円、3款1項国庫負担金は、介護給付費負担金で0.2%減の5億5,605万3,856円となり、286ページの2項国庫補助金は合計で5.6%増の2億7,955万2,190円となり、1目調整交付金が2億1,297万4,000円、2目地域支援事業交付金が5,646万9,190円、3目介護保険事業費補助金が64万2,000円、4目保険者機能強化推進交付金が500万7,000円、5目介護保険災害臨時特例補助金が2万4,000円、287ページの6目介護保険災害等臨時特例補助金が17万2,000円で、7目保険者努力支援交付金が426万4,000円となっております。

4款1項支払基金交付金は合計で0.3%増の8億4,958万2,000円となり、1目介護給付費交付金が8億2,483万4,000円、2目地域支援事業支援交付金が2,474万8,000円です。

5款1項県負担金は、介護給付費負担金で0.1%減の4億4,915万3,657円となり、288ページの2項県補助金は、地域支援事業交付金で8.6%増の2,740万7,144円、6款1項財産運用収入は、基金積立金利子収入の3,590円、7款1項一般会計繰入金は、1目介護給付費繰入金が3億8,153万7,716円、2目地域支援事業繰入金が2,554万1,783円、3目その他一般会計繰入金が2,681万6,003円、289ページの4目低所得者保険料軽減繰入金が2,311万9,200円です。合計で1.1%減の4億5,701万4,702円となります。2項基金繰入金はありません。

8 款 1 項繰越金は14.9%減の3,578万3,988円となり、9 款 1 項延滞金加算金及び過料は、第 1 号被保険者の介護保険料の延滞金で 1 万 1,800円、2 項雑入は、290ページ、1 目第三者納付金から 3 目雑入まで、合計21.1%増の852 万1,479円でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。291ページをご覧ください。1 款総務費では、1 項総務管理費は43.2%減の813万2,937円、2 項徴収費は10.3%減の102万51円となり、3 項介護認定審査会費は229ページの 1 目から 3 目の合計で2.8%増の1,949万3,516円、293ページの 4 項趣旨普及費は18万1,830円、5 項高齢者福祉推進会議費は13万2,600円となりました。

2 款保険給付費では、1 項介護サービス費諸費は、要介護認定者の介護サービス等給付費で 1.2%増の28億3,713万6,315円、294ページの 2 項介護予防サービス等諸費は、要支援認定者の介護予防サービス等給付費で12.8%増の4,749 万3,385円、295ページ、3 項その他諸費は、審査支払手数料で269万84円で、4 項高額介護サービス等費は、利用者負担が高額になった場合の保険給付で0.2%減の5,626万73円、296ページの 5 項高額医療合算介護サービス等費は、医療及び介護利用者の負担が一定の上限を超える額を給付するもので、16.9%減の749万8,423円、6 項市町村特別給付費は、支出はございませんでした。7 項特定入所者介護サービス等費は、施設サービスの居住費、食費等負担について、低所得者の軽減分を補填するための給付で、14.6%減の 1 億112万3,454円です。

297ページ、3 款地域支援事業費では、1 項介護予防生活支援サービス事業費は要支援認定者等を支援する事業で、1 目サービス事業費と、298ページ、2 目介護予防ケアマネジメント事業費の合計で12.8%減の5,087万3,095円、2 項一般介護予防事業費は、一般高齢者を対象とした事業で19.1%増の4,446万9,413円となり、3

項包括的支援事業任意事業費は、300ページ、1 目の総合相談事業費から、ページ飛びまして、304ページの 8 目地域ケア会議推進事業費まで、合計で9.4%増の7,671万1,550円となり、304ページ、4 項その他諸費は、審査支払手数料で13万278円となりました。

4 款 1 項基金積立金は、介護給付費準備基金積立金で3,590円、305ページ、5 款 1 項償還金及び還付加算金は、1 目第 1 号被保険者保険料還付金、2 目償還金の合計で2,671万7,516円となり、6 款予備費の支出はありませんでした。

以上が令和 3 年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○梅津善之委員長 次に、認第 1 号の令和 3 年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算について。

小林克人建設課長。

○小林克人建設課長 令和 3 年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の38ページをお開き願います。歳入につきましては、収入済額合計は前年度対比 1,765万2,200円増の7,351万9,506円となり、調定額と同様となっております。

39ページをお開き願います。歳出につきましては、支出済額合計は前年度対比1,765万2,200 円増の7,351万9,506円となっております。予算現額に対する執行率は71.7%となっております。

それでは、事項別明細書によりご説明を申し上げます。

決算書313ページをお開き願います。歳入につきましては、1 款事業収入、1 項 1 目宅地売払収入は3,906万3,947円で、分譲 7 区画の土地売払収入でございます。

2 款財産収入、1 項 1 目利子及び配当金は80

円で、基金運用利子でございます。

3款繰入金、1項1目宅地開発基金繰入金は35万5,479円でございます。

314ページをお開き願います。4項市債、1項1目宅地開発事業債は、3,410万円でございます。

315ページをご覧ください。歳出につきましてご説明申し上げます。1款1項1目宅地開発総務管理費につきましては4,278万7,618円で、土地の鑑定評価に係る手数料、宅地開発基金積立金などがございます。

1款2項1目宅地造成費につきましては3,051万8,322円で、宅地造成地確定測量等業務委託料、宅地造成工事費等でございます。

316ページをお開き願います。2款1項2目利子につきましては、長期債利子の21万3,566円でございます。

以上、令和3年度宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願いを申し上げます。

#### **認第2号 令和3年度長井市水道事業会計決算認定について**

#### **認第3号 令和3年度長井市下水道事業会計決算認定について**

#### **議案第43号 令和3年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について**

#### **議案第44号 令和3年度長井市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について**

○梅津善之委員長 次に、認第2号 令和3年度長井市水道事業会計決算認定についてから議案第44号 令和3年度長井市下水道事業会計未処

分利益剰余金の処分についてまでの4件について。

佐藤桂一上下水道課補佐。

○佐藤桂一上下水道課補佐 おはようございます。

認第2号 令和3年度長井市水道事業会計決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書335ページ、水道1ページをお開き願います。以降、水道ページで申し上げます。

それでは、決算報告書からご説明申し上げます。金額は、税込みの記載でございます。

初めに、収益的収入及び支出につきましては、収入の第1款水道事業収益の決算額は7億2,577万9,903円となりました。

支出の第1款水道事業費用の決算額は、6億212万732円となりました。

2ページをお開き願います。資本的収入及び支出につきましては、収入の第1款資本的収入の決算額は1億7,401万円で、3ページの支出につきましては、第1款資本的支出の決算額は4億9,900万2,136円となりました。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億2,499万2,136円は、当年度の消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,741万8,383円、過年度分損益勘定留保資金1億9,824万2,818円、当年度分損益勘定留保資金933万935円、利益剰余金1億円をもって補填をさせていただきました。

4ページをお開き願います。損益計算書により、経営状況についてご説明申し上げます。

なお、後ほど収益費用明細書で補足してご説明申し上げます。こちらは、消費税抜きの金額となります。

営業収益につきましては、給水収益から他会計繰入金まで合計6億2,458万8,205円、対前年比0.5%の増となりました。営業費用につきましては、浄水及び配給水費から資産減耗費まで合わせて4億9,737万7,757円で、前年度と比べ、3.8%の増となりました。その結果、営業収益

から営業費用を差し引きました営業利益は1億2,721万448円で、前年度と比較いたしまして、1,510万8,816円、率にしまして10.6%の減となりました。

次に、5ページをご覧ください。営業外費用は対前年比2.8%減の3,917万7,108円、営業外費用につきましては、10.2%減の5,916万1,107円となりました。結果、経常利益につきましては、前年度と比較しまして949万4,071円、8.1%減の1億722万6,449円となりました。これに特別利益と特別損失を合わせました当年度純利益につきましては、前年度と比較し、954万6,930円、8.3%減となる1億611万4,862円で、令和3年度長井市水道事業会計につきましては、単年度黒字決算となりました。

また、前年度繰越利益剰余金並びに減債積立金を取り崩し、4条予算の補填財源に使用したその他未処分利益剰余金変動額1億円を合わせた当年度未処分利益剰余金は3億951万5,537円となったところでございます。

次に、6ページをお開き願います。剰余金計算書についてご説明いたします。

これは、資本金及び剰余金の当年度の変動額による当年度末の残高計算表となっております。本年度は、利益剰余金から減債積立金を取り崩したことにより、未処分利益剰余金額が増額となっております。未処分利益剰余金につきましては、当該取崩し分と当年度純利益を加えた3億951万5,537円が年度末の残高となります。これによりまして、資本合計は当年度純利益分増加し、27億1,788万7,056円となっております。

7ページにつきましては、剰余金処分計算書の案でございますが、後ほど議案でご説明させていただきます。

次に、8ページをお開き願います。貸借対照表により、財産の状況についてご説明申し上げます。

資産の部につきましては、固定資産税では、

新たに取得した資産もございまして、減価償却が進んだことによりまして、対前年比7,284万888円減の62億6,302万8,920円となりました。

9ページをご覧ください。流動資産は、現金及び預金の増加によりまして、対前年比9,959万9,448円増の10億182万7,579円となり、資産合計では対前年比2,675万8,560円、0.4%増の72億6,485万6,499円となりました。

負債の部でございますが、固定負債につきまして、企業債残高の減少によりまして、対前年比1億4,630万4,150円減の29億8,598万5,527円、また、流動負債につきましては、未払い金の増加等により、対前年比8,041万8,445円の増の4億8,379万8,503円となりました。

10ページをお開きください。繰延収益につきましては、減価償却見合い分の収益金に伴い、前年度から1,347万597円減の10億7,718万5,413円となり、これらを合計した負債合計は、対前年比7,935万6,302円減の45億4,696万9,443円となりました。

資本の部におきまして、資本金については、令和2年度からの未処分利益剰余金からの1億円を繰り入れたことにより、10億6,398万8,238円となりました。資本剰余金につきましては、前年度からの変動はございません。利益剰余金につきましては、当年度純利益分増額し、6億8,681万5,537円、資本合計は27億1,788万7,056円となりました。

なお、資本合計と負債資本の合計は72億6,485万6,499円で、一致いたしております。

ページが飛びまして、水道33ページをお開き願います。キャッシュフロー計算書につきましてご説明申し上げます。

計算書につきましては、一般会計における資金収支の状況を表すもので、平成26年度から添付を義務づけられているものでございます。

業務活動によるキャッシュフローは、水道料金収入、浄水費用、業務及び総係費などの営業



活動によりまして、3億5,273万6,659円を生み出しました。投資活動によるキャッシュフローは、有形固定資産を取得したことによる支出、国、県等の補償金による収入により、1億2,563万6,505円を使用しました。財務活動によるキャッシュフローでは、企業債の借入、企業債の償還等で1億3,871万1,070円を使用しました。結果、期首である令和3年4月1日時点における資金残高8億8,416万7,997円から、令和3年度中に8,838万9,084円が増加しまして、令和3年度末における資金の残高は9億7,295万7,081円となりました。これは、貸借対照表の流動資産中の現金及び預金に相当するものでございます。

続きまして、水道34ページをお開き願います。収益費用明細書につきまして、損益計算書に補足してご説明申し上げます。

1款1項営業収益では、2目加入金の内訳として、備考欄に記載しているとおり、新規加入102件、口径変更17件となっております。4目その他の営業収益は、各種手数料、一般会計からの負担金、下水道、農業集落排水処理施設使用料の収入業務の委託料収入によるものでございます。

35ページの2項営業外収益の主なものといたしましては、受け取り利息やペットボトル水販売収益、当年度償却分の前期前受金戻入益となっております。

次に、費用についてご説明いたします。

36ページをお開き願います。1款1項1目浄水及び配給水費につきましては、職員人件費のほか、上水道施設運転業務の委託料、修繕費、動力費が主なものとなっております。

38ページをお開き願います。3目業務及び総係費につきましては、職員4名及び会計年度任用職員3名分の人件費、金融機関手数料、負担金などが主なものとなっております。

39ページの4目減価償却費は、建物、構築物、

機械及び装置などの減価償却費となっております。

5目資産減耗費は、機械装置、配水管などの固定資産の除却費でございます。

40ページをお開き願います。2項営業外費用は、企業債などの支払い利息及び雑支出となっております。

3項1目過年度修正損につきましては、当期概算料金における精算還付金でございます。

41ページをご覧願います。資本的収支明細書についてご説明申し上げます。こちらは、税込みの金額でございます。

初めに、収入でございますが、第1款1項企業債は、配水施設整備事業債及び管路緊急改善事業債となっており、道路改良工事に伴う管路布設替工事や老朽管布設替工事、機械設備更新工事と、そういったものでございます。

2項国庫補助金は、平山栄町線送水管布設替工事による国庫補助金でございます。

次に、支出でございますが、第1款1項建設改良費につきましては、1項事務費は職員人件費で、42ページをお開き願います。2目配水施設整備費につきましては、管路布設替え等の工事費、請負費でございます。3目資産購入費につきましては、伊佐沢加圧ポンプ場、電気計装設備や量水器等の購入費用となっております。

なお、工事の内容、資産購入の内容につきましては、水道15ページから17ページにその概要を記載してございますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。

次に、2項企業債償還金につきましては、記載のとおりでございますが、こちらの明細につきましては、44ページ以降に記載してございます。

以上が令和3年度水道事業会計決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、議案第43号 令和3年度長井市

水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてご説明申し上げます。

決算書の340ページ、水道6ページの剰余金計算書及び水道7ページの剰余金処分計算書(案)をお開き願います。処分の内容でございますが、先ほど決算の概要でご説明させていただきました令和3年度の未処分利益剰余金3億951万5,537円のうち、1億円を資本金に組み入れ、1億円を減債積立金に積み立て、残余の1億951万5,537円を令和4年度に繰り越しいたすものでございます。これによりまして、資本金残高は11億6,398万8,238円に、減債積立金3億5,730万円となるものでございます。よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、認第3号 令和3年度長井市下水道事業会計決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の387ページ、下水道1ページをお開き願います。以降、下水道のページで申し上げます。

それでは、決算報告書からご説明申し上げます。金額は、税込みの記載でございます。

初めに、収益的収入及び支出のうち、第1款公共下水道事業収益から、2ページをご覧ください。第4款浄化槽事業収益までの4事業を合わせた収益的収入の決算額は9億1,605万8,688円となりました。支出につきましては、同様に、第1款公共下水道事業費用から、3ページの第4款浄化槽事業費用までの4事業を合わせた収益的収入の決算額が8億9,437万4,598円となりました。

4ページをお開き願います。資本的収入及び支出につきましては、収入の第1款公共下水道事業資本的収入から、5ページの第4款浄化槽事業資本的収入までの4事業を合わせた資本的収入の決算額は6億3,884万3,752円で、6ページをお開き願います。支出につきましては、第1款公共下水道資本的支出から、7ページの第

4款浄化槽事業資本的支出までの4事業を合わせました資本的支出の決算額が10億2,471万9,551円となりました。

なお、資本的収入額が資本的支出に不足する額3億8,587万5,799円につきましては、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,131万1,780円、過年度分損益勘定留保資金891万387円、当年度分損益勘定留保資金3億6,476万9,973円、繰越剰余金処分額88万3,659円をもって補填をさせていただきました。

8ページをお開き願います。損益計算書により、経営の状況についてご説明申し上げます。

なお、後ほど収益費用明細書で補足してご説明申し上げます。金額は、消費税抜きの金額となっております。

営業収益につきましては、下水道使用料から他会計負担金までの合計で対前年度比498万4,643円、1.3%増の4億128万686円でございます。営業費用につきましては、管渠管理費からその他営業管理費までの合計で、対前年度比1,141万9,701円、1.5%増の7億8,246万5,306円でございます。結果、営業収益から営業費用を差し引きました営業利益は、対前年度比643万5,078円、1.7%減のマイナス3億8,118万4,620円となりました。

次に、9ページをご覧ください。営業外収益は、対前年度比2%減の4億7,163万5,163円、営業外費用につきましては、同じく13.1%減の8,422万2,676円で、結果、経常利益は対前年度比340万9,884円、35.4%減の622万7,867円となりました。これに特別利益と特別損失を合わせました当年度純利益につきましては、前年度と比較いたしまして63万9,585円、10.1%増となります696万4,110円で、令和3年度長井市下水道事業会計決算につきましては、黒字決算という形になってございます。また、前年度繰越利益剰余金と合わせました当年度未処分利益剰余金につきましては、1,126万6,764円となりました。

次に、10ページをお開き願います。剰余金計算書についてご説明申し上げます。

これは、資本金及び剰余金の当年度の変動額による当年度末残高計算表となっております。令和3年度の未処分利益剰余金につきましては、令和2年度末の残高に当年度純利益を加えました1,126万6,764円が年度末の残高になります。また、これによりまして、資本合計は当年度純利益が増加し、35億4,855万2,864円となっております。

11ページにつきましては、剰余金未処分計算書の案でございますが、後ほど議案で説明をさせていただきます。

次に、12ページをお開きください。貸借対照表により、財産の状況につきましてご説明申し上げます。

資産の部につきまして、固定資産は全て土地、建物、構築物などの有形固定資産で、対前年度比2億4,101万8,520円減の148億31万1,630円、流動資産は現金及び預金や営業未収金等で、対前年度比5,505万3,310円減の1億3,732万5,418円、資産合計では、対前年度比2億9,607万1,830円減の149億3,763万7,048円となりました。

負債の部でございますが、固定負債につきましては、企業債残高の減少によりまして、対前年度比3億8,457万3,054円減の48億9,707万7,394円、また、流動負債につきましては、未払い金の減少等によりまして、対前年度比8,531万8,646円減の7億2,774万534円となりました。繰延収益につきましては、前年度から1億6,685万5,760円増の57億6,426万6,256円で、これらを合計しました負債合計は対前年度比3億303万5,940円減の113億8,908万4,184円となりました。

14ページをお開きください。資本の部におきまして、資本金、資本剰余金ともに昨年度からの変動はございません。

利益剰余金につきまして、当年度純利益分増

加し、1,126万6,764円、資本合計は同じく当年度純利益分増加し、35億4,855万2,864円となっております。

なお、資産合計と負債資本の合計は149億3,763万7,048円で、一致いたしております。

ページが飛びまして、下水道35ページをお開き願います。キャッシュフロー計算書についてご説明申し上げます。

こちらの計算書につきましては、1会計期間における資金の収支及び状況を表すものでございます。業務活用によるキャッシュフローは、料金収入、処理費用、業務及び総係費等の営業活動により3億9,301万4,900円を生み出しました。投資活動によるキャッシュフローは、受益者負担金、国、県等の補助金、一般会計からの繰入金による収入によるもののほか、有形固定資産の取得による支出等ございまして、45万8,190円を使用しました。財務活動によるキャッシュフローは、企業債の借入、企業債の償還等ございまして、4億916万1,985円を使用しました。結果、期首である令和3年度4月1日現在の資金残高6,492万5,398円から令和3年度中に1,660万5,275円が減少しまして、令和3年度末における資金残高は4,832万123円となりました。これは、貸借対照表の流動資産中の現金及び預金に相当するものでございます。

次に、36ページをお開き願います。収益費用明細書につきまして、損益計算書に補足してご説明申し上げます。

1款公共下水道事業収益、2款特定環境保全下水道事業収益、3款農業集落排水事業収益、4款浄化槽事業収益ともに、それぞれ1項営業収益の主なものにつきましては、使用料、督促手数料となっております。

なお、1款公共下水道事業収益、1項営業収益につきましては、2目下水路使用料は雨水幹線の一部占用料、4目他会計負担金につきましては、雨水処理に係る一般会計からの繰入金で

ございます。また、2項営業外収益の主なものといたしましては、各款共通で一般会計からの繰入金や国、県からの補助金、当年度償却分の長期前受金戻入益などとなっております。

次に、費用についてご説明いたします。

40ページをお開き願います。1款公共下水道事業費用、1項営業費用、1目管渠管理費の主なものにつきまして、汚水施設の耐水化計画策定業務委託料のほか、マンホールポンプ及び下水路取付け管の補修工事に係る修繕費などがございます。2目管理センター費につきましては、薬品などの備用品費、処理施設の動力費、脱水ケーキ処分委託料のほか、管理センター運転、保守点検業務委託料などとなっております。

41ページをご覧ください。3目総係費につきましては、職員人件費のほか、下水道事業会計に対する下水道使用料等、徴収事務委託料などが主なものとなっております。

42ページをお開き願います。4目減価償却費につきましては、以降、1款から4款までの共通で、各款共通で、建物、構築物、機械及び装置などの減価償却費となっております。

2項営業外費用につきましては、こちらも各款共通で、企業債の支払い利息、各種補助金などとなっております。

3項特別損失につきましては、同様に各款共通で、当期概算請求による精算金でございます。

45ページをお開き願います。3款農業集落排水事業、1項営業費用、1目今泉処理施設管理費、同じく2目大久保処理施設管理費につきましては、それぞれの農業集落排水処理施設に係る支出で、動力費、基本運転点検委託料などが主なものとなっております。

47ページをお開き願います。4款浄化槽事業費用、1項営業費用、1目浄化槽管理費につきましては、次の48ページにかけまして、浄化槽保守点検清掃委託料や浄化槽法定点検手数料等でございます。

2項営業外費用、2目補助金につきましては、浄化槽転換事業補助金で20件、また放流ポンプ等の設置に係る補助金が4件でございます。

49ページをご覧ください。資本的収支明細書についてご説明申し上げます。こちらは、税込みの金額でございます。

初めに、収入でございますが、資本的収入の総額は4事業合わせて6億3,884万3,752円で、内訳といたしましては、企業債2億4,500万円のほか、受益者負担金及び分担金1,109万1,420円、国庫補助金が1億4,258万3,000円、一般会計からの繰入金が2億3,079万9,758円、県が行う街路整備事業に係る補償金936万9,574円となっております。

51ページをお開きください。次に、支出につきましては、1款公共下水道資本的支出、1項建設改良費、1目管渠建設事業費につきましては、米沢養護学校長井分校整備に伴う実施設計業務委託のほか、桐町成田線電線共同溝設置の工事に伴う汚水ます設置工事、市内9か所における公共汚水ます設置等でございます。2目管理センター事業費につきましては、公共下水道管理センターの長寿命化のための改築更新工事でございます。こちらは、日本下水道事業団に委託したものでございます。

53ページをお開きください。3款農業集落排水事業資本的支出、1項建設改良費、1目処理施設事業費につきましては、今泉地区農業排水処理施設機能強化のための処理施設改修工事に係るものでございます。

54ページに進みまして、4款浄化槽事業、1項建設改良費、2目浄化槽整備費につきましては、浄化槽設置工事費38基分でございます。

なお、こちらの工事につきましては、下水道21ページから25ページにその概要を記載しておりますので、後ほどご覧いただければと思います。

また、1款から4款までの共通で、各款2項

の企業債償還金につきましては、それぞれ記載のとおりでございますが、こちらの明細につきましては、56ページから61ページにかけて記載してございます。

以上が令和3年度下水道事業会計決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、議案第44号 令和3年度長井市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてご説明申し上げます。

決算書の396ページ、下水道10ページの剰余金計算書及び下水道11ページ、剰余金処分計算書(案)をお開き願います。処分の内容でございますが、先ほど決算の概要で説明をさせていただきました令和3年度の未処分剰余金1,126万6,764円のうち、88万3,659円を資本的収入額が資本的支出額に不足する額の補填財源として使用するため、資本金に組み入れるとともに、残余の1,038万3,105円を令和4年度に繰り越すものでございます。これによりまして、資本金残高は34億804万2,759円となるものでございます。

よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

**○梅津善之委員長** 以上で概要の説明が終わりました。

ここで暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午前 11時46分 休憩

午後 1時00分 再開

**○梅津善之委員長** 休憩前に復し、会議を再開いたします。午前に引き続き会議を開きます。

## 令和3年度長井市各会計決算に関する総括質疑

**○梅津善之委員長** 総括質疑の発言通告がありますので、順次ご指名いたします。

なお、鈴木富美子委員から資料の配付について申出があり、会議規則第150条の規定により、許可いたしましたので、ご報告いたします。

## 勝見英一郎委員の総括質疑

**○梅津善之委員長** 順位1番、議席番号2番、勝見英一郎委員。

**○2番 勝見英一郎委員** 政新長井の勝見です。

本日の総括質疑におきましては、最初に、統一的な基準による財務書類に基づく指標について質問させていただきます。

なお、私は……。

**○梅津善之委員長** 勝見委員、マイクに近づけて、申し上げます。

**○2番 勝見英一郎委員** 統一的な基準による財務書類に基づく指標について質問させていただきます。

なお、私は、財政に関しては、やはり疎いところがありますので、解釈の違い等もあるかもしれませんが、ぜひご答弁をよろしくお願いいたします。

まず、地方公会計制度について触れさせていただきますが、この制度は、平成27年度から平成29年度の間、全ての地方公共団体が統一的な基準による財務書類を作成することになり、本市においても平成28年度からいわゆる財務4表が作成されました。この制度の目的は、地域住民や議会への説明責任を果たすこと、及び行政の適切な運営に役立てることがあるとされてお